

## 平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	CAD利用技術者短期間育成講座		
法人名	学校法人 都城コア学園		
学校名	都城コンピュータ・福祉医療専門学校		
代表者	理事長 児玉 隆次	担当者 連絡先	上村 光昭 0986-38-4811
<p>1. 事業の概要</p> <p>今日、CADは、設計事務所のほか、建築・機械関係の企業、不動産業界、アパレルのデザイン会社等といった様々な場所で利用されています。したがって、そういった分野・業界への就職・転職には大変有利な技術となっています。そこで、CADの技術をもち、そしてワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトが使いこなせる人材を短期間に育成するための効果的なカリキュラムを研究・開発し、その実証を行う。と同時に若者に対するキャリアカウンセリングも実施し、早期就職・長期就業を実現する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>講座終了後の受講者の就職活動として再チャレンジの機会拡大ということでは、75%の達成率である。理由は、11名で講座開始。講座途中で2名が就職決定とのことで受講を辞退。1名が持病のために辞退。残り8名中、2名がアルバイトを継続するとの意思表示有り。よって、再チャレンジの機会拡大としては、講座終了時点で6/8で75%となる。8名の状況は次の通りである。内定者 2名、結果待ち 2名、就職活動中 1名、アルバイト継続 2名、進学 1名。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>CAD技術については、学校としての取り組みもまったく無い中での事業の展開であったので、事業で実施したすべてのことが成果であった。大まかには下記の内容が成果として得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CADソフトの利用については、操作できるだけではなく、業務に応じて業界ごとの専門知識が重要。その取得には、40時間ほど必要であること。</li> <li>・1企業でも複数のソフトを使い分けていることが明確になり、今後、その方向は変わらない。</li> <li>・技術者も複数のソフトを操作でき、かつ業界ごとの専門用語を理解しておく必要がある。</li> <li>・近隣地域では、講師がほとんどいない。</li> <li>・近隣地域では、非常に重要である。大手企業でCAD技術者の専任を採用できるようなところは別であるが、零細企業の多い地元では、オフィスソフトの能力も未だに重要であること。</li> </ul> <p>③今後の活用</p> <p>付帯事業としてCAD技術者育成を展開し、カリキュラムをより完成へと進めていく。また、専門学校のカリキュラムにも反映させ、CADオペレータの人材を輩出する。</p>			

#### ④次年度以降における課題・展開

- ・講師の育成と人材確保
  - ・訓練者の採用を見越した企業側との関係構築
  - ・製図としての知識と技術をどの程度まで学習するか※
  - ・CADソフトを使う上で必要となる業界(建築・土木・金属など)の専門用語などをどの程度学習するか※
- ※中央職業能力開発協会が実施している「CADトレース技能審査 中級」の教育訓練課程基準表を参考にカリキュラムを作成する。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①ニーズ調査等

- ・企業が求める人材像とは何か、どのような技術・スキルをもった人が採用されているのか等の実態調査を行い、その調査内容を把握し、育成カリキュラムに反映させるために実施。
- ・都城近隣の建築・建設・製造・木竹・内装関係の358社に調査票を送付し、13社から回答を得た
- ・郵送
- ・CADソフトの利用が多種にわたっていることが明確になり、いろんなソフトに対応できる技術者を育成しなければいけなかった。

#### ②カリキュラムの開発

CAD技術はもちろんのこと、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトも使いこなせる人材を育成するカリキュラムとして開発。また、社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)が実施するCAD利用技術者基礎試験とCAD利用技術者2級の試験を取得できるカリキュラムとした。

対象として、まったくの初心者とした。時間割進め方として、一つ一つの講義を集中して実施するのではなく、各講義を並行して進めるやり方とし、受講生にとって余裕のある時間割とした。

#### ③実証講座

CAD利用技術者短期間育成講座

平成19年11月7日(水)～平成20年2月1日(金)

11名(男性7名 女性4名 平均年齢 28.4)

拓明館 セミナールーム

当初、CAD技術者というよりも「CADの仕事に興味はもっているが、CADの仕事ってどんなものか良く分からない」という状況であったが、カリキュラムを通じて、CADの仕事を理解し、今後の就職活動や自己研鑽に活用する方が大半である。

#### ④その他

- ・CAD技術だけでなく、情報リテラシーとしてオフィスソフトの履修を導入したこと。
- ・社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)が実施するCAD利用技術者基礎試験とCAD利用技術者2級の試験対策も実施したこと。
- ・時間割上、原則、10時から16時までとして、受講生にとってゆとりのある計画とした。